



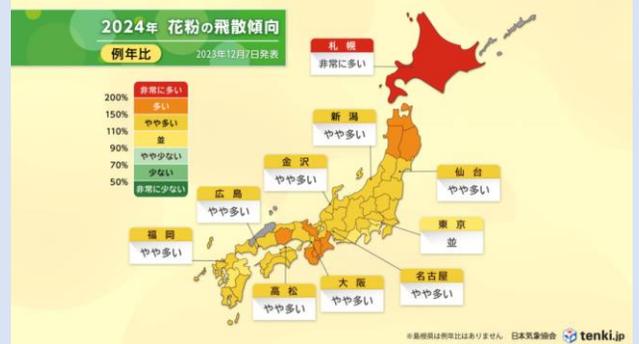
震災時に備えて

2024年を迎えたと思ったら、能登半島での大きな地震があり、改めて地震大国に住む日本人としてのリスクを感じる年初となりました。

近いところと言うと2011年に起こった東日本大震災があります。その時の経験が眼科医会の会誌に共有されております。その経験から言うと、多くの方が被災後に、コンタクトレンズの保存液やケア用品がないことで困ったということでした。いざという時のために**在庫に少し余裕を持たせておく**ことは、リスクマネジメントの観点から有効ですね。常用する点眼や内服薬などがあるのであれば、普段から一か月程度の在庫があると安心かもしれません。

東北の経験では、物資がある程度届くようになるのに1か月を要したとのこと。東京の場合は、人口も多く、援助を期待する周囲都市も余力はなく、もっと時間がかかる可能性もあります。

花粉の飛散予報



2023年は多かったですが、関東では今年**平年並み**のようです。2月中旬から飛散する予測です。
(日本気象協会から転載)

2023年のまとめ

2023年手術件数

霰粒腫切開	25
麦粒腫切開	3
網膜光凝固術	10
後発白内障切開術	18
硝子体注射	27
マイボム腺切開	6
結膜下異物除去術	2
眼瞼縁腫瘍切除	2
総計	93



2023年は総計**9300人**の方にご来院いただきました。内1500人が新規患者さんでした。ありがたいことに徐々に来院される患者さんが増えております。待ち時間が増えないように工夫をしていきたいと思っております。